

平成23年度事業計画書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人ハートセービングプロジェクト

1 事業実施の方針

- (1) 2011年3月に発生した東日本大震災の影響により、いくつかの大口寄付者からは例年通りに寄付ができない旨の連絡がすでに入っている。こうした事情により、「現地で支援する活動」を例年に比較して縮小せざるを得ないものと見込まれるが海外医療ボランティア活動を現地での教育的見地に重点を置きたい為、最低年2回の実施を目標とする。
- (2) 海外活動に対する各助成金事業の調査を行い、該当する助成金へ積極的に応募する。
- (3) 一般に広く活動を知らしめることにより、会員の増加を図り、会費収入を同じく活動資金に充当できるよう会員募集活動を実施する。
- (4) チャリティイベントを定期的開催し、活動資金の増加に努める。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
海外医療ボランティア活動を現地で支援する事業	モンゴル国渡航治療活動（モンゴル国立母子保健センターおよび国立第三病院と提携し、先天性小児循環器疾患の診断・治療活動、モンゴル国内の地方検診）の促進と支援	9月 10月	モンゴル国 国立母子保健センター 国立第三病院 モンゴル国内の各地方都市（ウムヌゴビ一県またはウブス県	10名	600名 =モンゴル国にて心臓検診を受診する児童・心臓疾患治療を受ける児童の不特定多数。 =モンゴル国内で教育を受ける医師	3,000
	同上の目的で現地にてボランティアチームの滞在支援（宿泊手配、食事手配、交通手配、通訳）	9月 11月	モンゴル国	4名	モンゴル国 児童・医師 不特定多数	2
	同上の目的で現地にて来院患者の整理・カルテ作り	9月 11月	モンゴル国	10名	モンゴル国 児童・医師 不特定多数	2
	モンゴル国医師と日本人医師の間に立ち、医療情報の翻訳・通訳を実施	4月～3月	事務所内	2名	モンゴル国 及び 日本の医師	2
	外務省「NGO連携無償資金協力」の枠組にのっとしてアロカ社、日本赤十字医療センター、HSP合同のエコー機無償供与事業を実施	4月	事務所内	4名	モンゴル国 児童・医師 不特定多数	1,757

海外医療ボランティア活動を日本で支援する事業	電話・メールにてモンゴル国の医療面・安全面の情報収集活動	4月～3月	事務所内	3名	日本の医療関係者不特定多数	5
	モンゴルで治療の難しい病気を抱えた人々が来日して医療を受ける際の通訳・アテンド活動	4月～3月	東京 神奈川	2名	来日するモンゴル人不特定多数	3
	次年度に実施される海外医療ボランティアの交通、宿泊先、食事、スケジュール手配と活動先となる病院との折衝、必要な医療物資の調達を電話・メールにて具体的に調整	9月 11月	事務所内	5名	モンゴル国児童およびボランティア参加の日本人医師不特定多数	5
	海外医療ボランティアに参加されている医師が勤務する病院を慰問し、入院中のこどもたちを励ます活動。同時に医師の海外医療ボランティア活動をアピール	7月、 11月	栃木県 愛媛県	8名	訪問先の入院児童 およそ800名	80
	NPO法人ハートセービングプロジェクトの公式HPの維持・更新	5月、7月、 11月	事務所内	4名	活動に興味のある一般市民不特定多数	2
	NPO法人ハートセービングプロジェクト紹介のパネル写真展開催	12月	東京都内 JICA地球 ひろば	8名	パネル写真展 来場予定者 150名	3

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
イベント事業	モンゴル出身力士参加によるチャリティーイベント開催	9月 11月	東京都 神奈川県	8名	300
物品販売事業	なし				0